

蒲生干潟周辺の塩分濃度 63

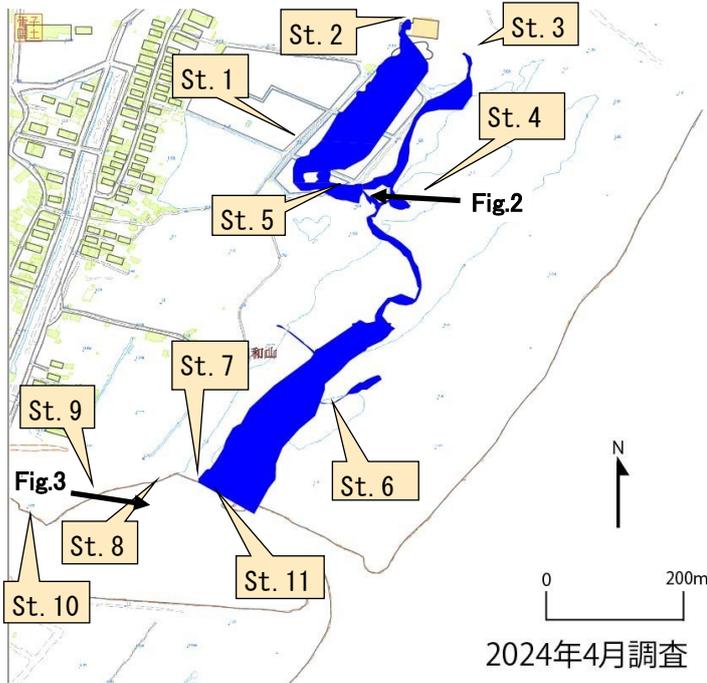


Fig.1 2024/4/19 採水点

Table.1 2024. 4月 塩分濃度(%)

採水点	2024 4/19	2024 3/28	増減	2023 4/12	増減
St. 1	0.7	1.0	-0.3	2.6	-1.9
St. 2	0.8	1.2	-0.4	2.3	-1.4
St. 3	0.8	1.2	-0.4	2.6	-1.8
St. 4	1.4	2.0	-0.6	2.9	-1.5
St. 5	1.2	1.9	-0.7	3.0	-1.8
St. 6	1.9	2.8	-0.9	3.1	-1.2
St. 7	2.8	2.1	0.7	3.2	-0.4
St. 8	3.4	2.4	1.0	3.2	0.2
St. 9	2.0	-	-	3.3	-1.3
St. 10	1.9	0.3	1.6	1.5	0.4
St. 11	3.5	2.5	1.0	3.2	0.3

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 南側潟湖と北側潟湖の接続部分付近



Fig.3 河口から見た導流堤付近の海水流入の様子

調査日時：2024年4月19日（金）10:00~11:30（満潮 12:56 潮位 104cm），天気：はれ

満潮に向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.4月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2024.3月，2023.4月）結果と比較した。

潟湖全体の水量は先月と同様に少なかった。北側潟湖と南側潟湖の接続部分では、湖床が露出している部分が多く、南潟湖方向へ何本かに分かれた水の流れがあった（Fig.2）。干潟内（St.1~7）の塩分濃度は、導流堤に最も近いSt.7以外のすべてのポイントで先月より低い値を示した。河口側（St.8~11）の濃度は、数値にばらつきが見られた。満潮に向かい右岸側から海水が流入したため（Fig.3）、導流堤付近（St.7,8,11）の塩分濃度が高かったことが伺える。昨年と比較すると、潟湖内すべてのポイントで低い値を示した。特にSt.7以外では、1.0ポイント以上大きく昨年の値を下回った。

（沼尾和弥）